

野生動物検出システム

機械学習により高精度でリアルタイムに動物を検知



概要

山に近い地域では、野生動物による人や農作物などへの被害が後を絶たない。近年は、都市部でも相次いで目撃情報が得られており、急な遭遇による事故を如何に減らすかが求められる。この課題を解決するために、本研究では、機械学習による野生動物警報システムを研究開発する。このシステムは、野生動物を人の代わりに自動で検出し、音や光で周囲にいる人に警報すると共に、メール登録者に検出情報を周知する。現在の警報システムは、以下の特徴を有する。

1. 畳み込みニューラルネットワークと収集した画像にて生成した野生動物の学習モデルによる検出
2. 警報装置に含まれるマイコン基板にて野生動物を検出するため（エッジAIの一種）センシングから音や光の発報まで約3秒、センシングからメール周知まで約1分で完了
3. ソーラーパネルとバッテリーで駆動するため、商用電源は不要

応用例

- 野生動物からの農地保護システム
- 野生動物警報システム

知的財産データ

知財関連番号 : 特願2021-213059
 発明者 : 齋藤 寛、小平 行秀、富岡 洋一
 整理番号 : K23-003

性能・特徴等

警報システムの概要



使用例

- 野生動物との急な遭遇による事故を回避するために、音や光による警報（できるだけ早く人に危険を知らせる）



お問い合わせ

本資料をダウンロード



お問い合わせ

<https://www.t-technoarch.co.jp/contact.html>



発明案件を随時更新中

<https://www.t-technoarch.co.jp/anken.php>



LinkedIn ページをフォロー

<https://www.linkedin.com/company/tohoku-techno-arch>



Leading you to Successful Industrialization



株式会社

東北テクノアーチ

TOHOKU TECHNO ARCH